

ベーシックサービスと財政改革 -負担とセーフティネットのあり方を考える-

新型コロナの猛威もようやくおさまり、インフルエンザと同様の感染症 5 類に変更になり、コロナ禍以前の生活に戻りつつあります。しかし、この間に国民の所得格差は拡大しているといわれています。自民党政権による、「自己責任論」は社会の隅々まで浸透し、日本国憲法による基本的人権の尊重はあらゆる場面で形骸化しているようにも見えます。

一億総中流の掛け声は世界の中で貧困率が拡大し、先進国の中で下位に属する現状になっています。今回の講演会は日本の分断社会を解消すべく、「ベーシックサービス」を提案している慶応大学の井出栄策先生をお招き

して講演会を開催することにいたしました。先生の提案するベーシックサービスは「弱者を生み出さない社会」を実現するために、みんなが、痛みを分かち合い、中間層も含めた幅広い層を「受益者」として貧しい人たちの命も同時に支えていくことをめざしています。サービスの提供の基礎になる税財源についても、先生は様々な提案をしています。

今回の講演会が現在社会の根源に関わる問題点の提起を含んでおります。福祉、医療、年金など行政サービスはどうあるべきかについて、ともに考えていきたいと思っております。関係する皆様のご参加を期待します。

[講演会資料代 500 円 会員無料]

自治研センター 講演会のご案内

- 日時：2024年3月16日（土）
14時30分～16時30分
- 会場：千葉県教育会館本館 203 会議室
千葉市中央区中央 4-13-10

<講演 講師紹介>

井手 英策 氏
(いで えいさく)



<現職> 慶應義塾大学経済学部 教授
<略歴> 1972年生まれ。東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。日本銀行金融研究所、東北学院大学、横浜国立大学を経て、現在に至る。
専門は財政社会学。総務省、全国知事会、日本医師会、全労済協会等の研究会座長・委員のほか、朝日新聞論壇委員、毎日新聞時論フォーラム委員なども歴任。著書に『どうせ社会は変えられないなんてだれが言った？』（小学館）『経済の時代の終焉』（岩波書店）ほか多数。

★ お申込は自治研センターへ 電話043-225-0020
FAX 043-225-0021
☆3月1日（金）までにお申し込み下さい

- 主催：千葉県地方自治研究センター
- 共催：自治労千葉県本部
- 後援：連 合 千 葉